

# 未来投資会議 構造改革徹底推進会合

## 公営発電施設・工業用水道事業 における検討・取組状況

平成30年11月5日  
経済産業省

# 1. 公営水力発電施設の進捗状況

# 1 - 1. 未来投資戦略2018

## 未来投資戦略2018

「PPP/PFI 推進アクションプラン（平成30年改定版）」の従来からのコンセッション重点分野である空港、上水道、下水道、道路、文教施設、公営住宅、クルーズ船向け旅客ターミナル施設及び MICE 施設に加え、新たに重点分野とされた**公営水力発電**及び工業用水道について、数値目標達成に向けた取組を強化する。

### PPP/PFI 推進アクションプラン（平成30年度改訂版）

記載内容	取組状況
<p>⑨公営水力発電 次に掲げる措置等により、平成30年度から平成32年度までを集中強化期間として、3件のコンセッション事業の具体化を目標とする。〈経済産業省〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コンセッション方式によるPFI事業の導入を前提とした水力発電開発地点の導入可能性調査に対する補助事業を計上し、地方公共団体における検討、移行を支援する。</li></ul>	<p>鳥取県が先行してコンセッション事業の検討を行っているところ、さらなる案件の形成に向け公営水力発電所を有する地方自治体の講習会で、コンセッション方式によるPFI事業について説明を行うとともにコンセッション事業を前提とした水力発電開発地点の導入可能性調査に対する補助事業について周知。コンセッション事業導入時のメリットなどを紹介することで、地方公共団体のコンセッション事業への移行、検討の促進に取り組んでいるところ。</p>

# 1-2. コンセッション事業の案件形成に向けた取組状況

## 案件形成に向けた取組

○公営水力発電所を有する地方自治体を対象に、コンセッション方式によるPFI事業導入時におけるメリットなどの説明を行うとともにコンセッション事業を前提とした水力発電開発地点の導入可能性調査に対する補助事業について周知。

## 説明会等の概要

### ○施策説明会

日時 平成29年11月30日（都道府県、政令指定都市）

### ○施策説明会

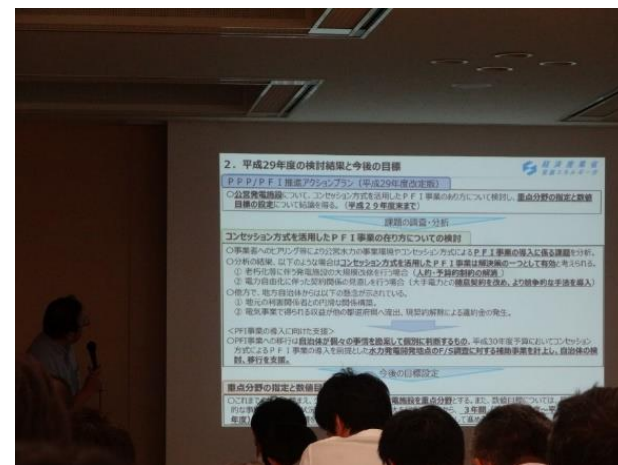
日時 平成30年5月21日（都道府県）

### ○公営電気 技術講習会

日時 平成30年9月12日（公営電気事業者）

### ○施策説明会

日時 平成30年10月9日（都道府県）



○PFI事業への移行は自治体が個々の事情を勘案して個別に判断するものであり、こうした説明会等を通じて、引き続き地方公共団体のコンセッション事業への移行、検討の促進を図る。

# 1 - 3. 公営水力発電施設の進捗状況

## 先行事例紹介

○現在、鳥取県において公営水力発電施設のコンセッション方式によるPFI事業を検討中。

## 検討の背景

- 運用開始後50年以上を経過しており、今後も安定的に電力供給を行うために、老朽化した発電設備を更新するとともに、長寿命化に向けた大規模な改修が必要。
- 安定経営を維持するため、発電コストの一層の削減のほか、より効率的な経営形態や組織体制の効率的な配置に向け、発電施設の改修・管理運営について、民間経営手法の導入等民間の経営力、技術力の活用を検討。

コンセッション方式を採用  
(2018年5月)

## コンセッション方式に対して期待する事項

- 民間資金・技術を活用した発電施設の再整備。
- 民間への市場開放に伴う地域経済の活性化。
- F I T適用、発電事業の効率化。
- ・発電施設の長寿命化・効率的な運営維持。
- ・地域創生の実現。
- ・県利益の最大化。

## **2.工業用水道事業におけるコンセッション方式 導入に関する取組状況**

# 2-1. 工業用水道事業の概要

## 工業用水とは

工業用水道事業法に規定する「工業」とは、製造業、電気供給業、ガス供給業及び熱供給業をいい、これらの工業の用に供する水（水力発電用、飲用を除く）のことを「工業用水」という。

## 工業用水道事業体数、事業数及び給水先数

平成30年4月現在、154の事業体（地方公共団体153、株式会社1）が243の事業を運営し、約6,000の事業所へ給水している。

### 工業用水道事業体数の内訳

地方公共団体	153
都道府県	39
市町村	104
企業団	10
株式会社	1
計	154

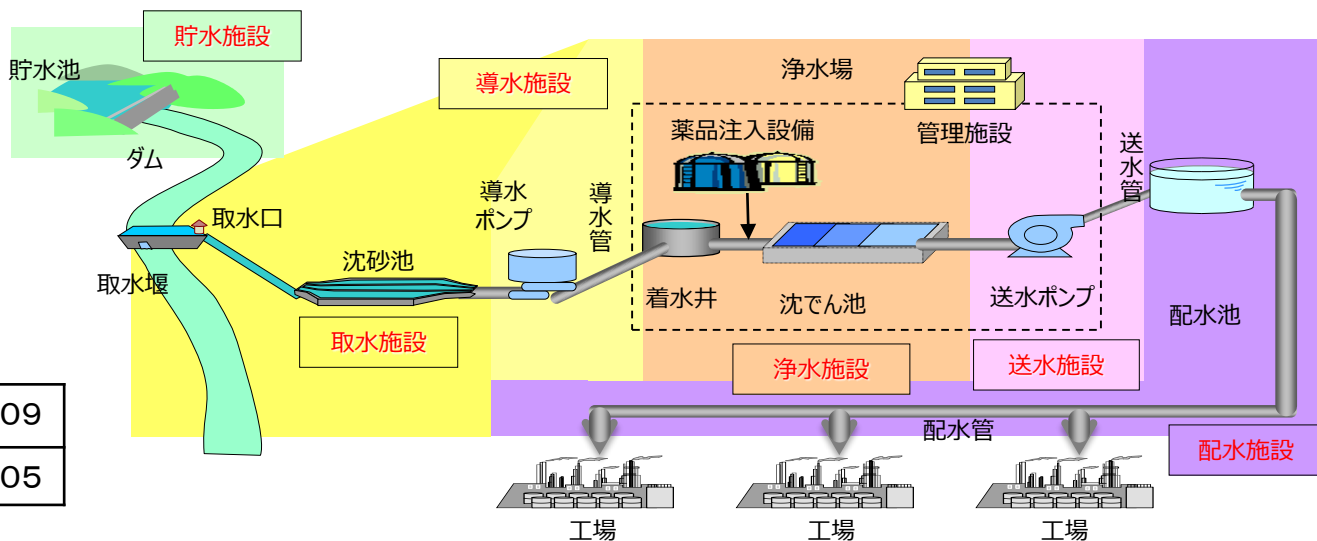
注) 経済産業省調べ(平成30年4月現在)

### 給水能力及び給水先数

給水能力(千m <sup>3</sup> /日)	21,509
給水先数	6,105

注) 経済産業省調べ(平成30年4月現在)

### 工業用水道施設



## 2-2. 「未来投資戦略2018」における工業用水道分野の位置づけ

未来投資戦略2018（成長戦略）（平成30年6月15日閣議決定）

### 3. PPP/PFI手法の導入加速

#### （2）政策課題と施策の目標

PPP/PFI推進アクションプラン（平成30年改定版）の従来からのコンセッション重点分野である空港、上水道、・・・MICE施設に加え、**新たに重点分野とされた**公営水力発電及び**工業用水道**について、数値目標に向けた取組を強化する。

PPP/PFI推進アクションプラン（平成30年6月15日PFI推進会議決定）

### 4. 集中取組方針

#### （2）重点分野と目標

**平成30年度から**、公営水力発電及び**工業用水道**について**新たに重点分野に指定する**ものとする。

【重点分野】

#### ⑩工業用水道

**平成30年度から平成32年度までを集中強化期間として、3件のコンセッション事業の具体化を目標とする。〈経済産業省〉**



## 2-3. 「未来投資戦略2018」を踏まえた工業用水道分野の進捗状況

- 平成30年度は、委託事業においてコンセッション方式の案件形成に向けた導入可能性調査、資産評価（デューデリジエンス）を実施中
- 工業用水道事業におけるPPP／PFI促進事業  
（平成30年度予算額：1.2億円，平成31年度概算要求額：1.0億円）



目標達成に向けたイメージ					
	29年度	30年度	31年度	32年度	目標
工業用水道	導入可能性調査				3件のコンセッション事業の具体化
		資産評価			